

調査の進め方

1 調査対象とする技術方式

Rev. A マルチキャリア方式によるCDMA高速データ携帯無線通信システムの技術的条件

2 技術的条件を調査するための前提条件

(1) 調査対象周波数

Rev. A マルチキャリア方式による高度化が行われることが想定されるCDMA高速データ携帯無線通信システムが使用されている800MHz帯(815-830MHz及びこれと対として使用される860-875MHz)及び2GHz帯(1,920-1,940MHz及びこれと対として使用される2,110-2,130MHz(注))の周波数とする。

(注) 1,920-1,925MHz及びこれと対として使用される2,110-2,115MHzの使用は、PHSの制御チャネルの移行が済む2012年6月からとなる。

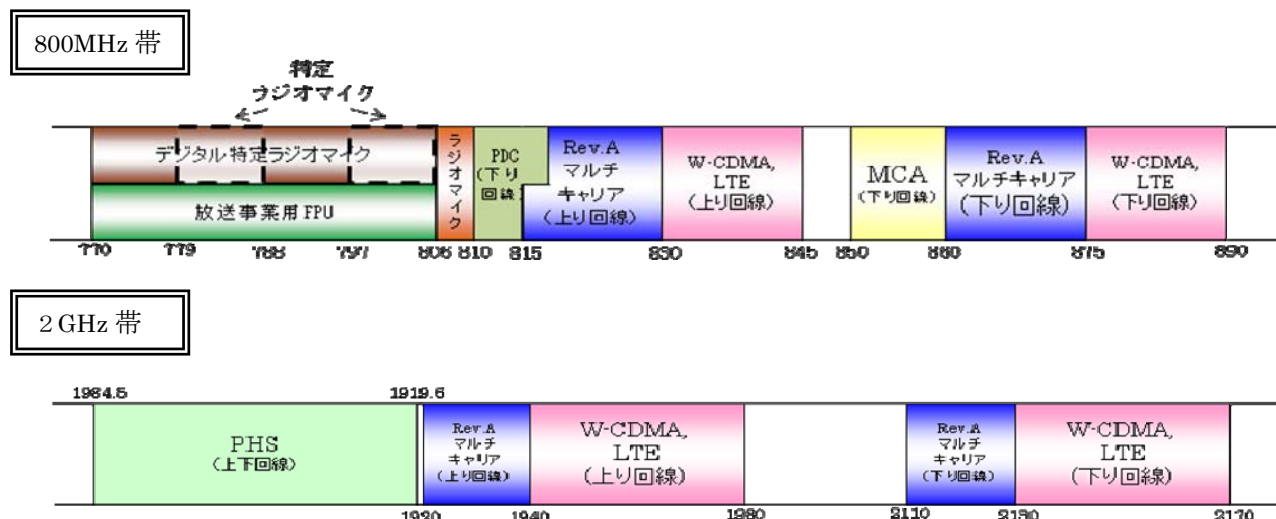
なお、1.5GHz帯及び1.7GHz帯については、次の理由から、Rev. A マルチキャリア方式による高度化が行われることが想定されないため、調査対象周波数からは除外する。

(理由)

- ① 1.5GHz帯については、3.9Gシステムに係る特定基地局の開設指針に基づき各開設計画が認定された周波数帯の一つであり、我が国においてCDMA2000系システムを展開するKDDI(株)は、当該周波数帯においてLTEを展開する旨の開設計画を提出し総務大臣の認定を受けている。
- ② 1.7GHz帯については、W-CDMA系の事業者に割り当てられ、CDMA2000系システムに使用されない。

(2) 被干渉・与干渉システムの範囲

Rev. Aマルチキャリア方式が導入される可能性のある周波数帯域の隣接システム(特定ラジオマイク、デジタル特定ラジオマイク、ラジオマイク、放送事業用FPU、PDC、W-CDMA、LTE、MCA及びPHS)を被干渉システムとして調査を行うこととする。



3 調査事項

- (1) Rev. A マルチキャリア方式による CDMA 高速データ携帯無線通信システムの要求条件
- (2) Rev. A マルチキャリア方式による CDMA 高速データ携帯無線通信システムモデルの設定
- (3) 隣接システムとの干渉調査・共用条件の検討(被干渉・与干渉システムの範囲は、2 (2) のとおり。)

(注) 隣接システムとの干渉調査・共用条件の検討は、はじめに基地局、陸上移動中継局及び陸上移動局(小電力レピータに限る。)については、従来のCDMA高速データ携帯無線通信システム(Rev. A方式)のものと諸元が変わらないことを明確にし、検討を省略することとする。

- (4) 電波防護指針への適合
- (5) 上記(1)から(4)までの検討結果を踏まえたRev. A マルチキャリア方式によるCDMA 高速データ携帯無線通信システムの技術的条件 等

4 スケジュール

別紙のとおり。

5 その他

本委員会において、上記3の調査事項について広く意見募集の機会を設け、Rev. A マルチキャリア方式によるCDMA高速データ携帯無線通信システムの技術的条件の検討に反映させることとする。

審議スケジュール

年月	分科会・委員会	作業班(+アドホック会合)
平成 21 年 7 月	7/28(火) 分科会(第 68 回) 審議開始	
平成 21 年 8 月	8/7(金) 委員会(第 34 回) ・調査検討事項・進め方、作業班の 設置、国際動向等の審議 等 8/13(木) 意見募集の実施 (募集期間 3 週間) ↓	8/18(火) 作業班(第 1 回) ・調査検討事項・進め方の確認 ・システムの要求条件及びシステム モデルの調査 ・アドホック会合の設置 等
9 月	中旬 委員会(第 35 回) ・意見募集及び作業班での検討等 を踏まえたシステムの要求条件 及びシステムモデルの審議 等	上旬 作業班(第 2 回) ・システムの要求条件及びシステム モデルの検討 委員会での審議を踏まえ、アドホック 会合により、共用条件の検討、技 術的条件の検討等を行う。
10 月	下旬 委員会(第 36 回) ・委員会報告案最終とりまとめの 審議 等 下旬 パブコメ開始 (募集期間 1 ヶ月) ↓	上旬 作業班(第 3 回) ・共用条件の検討 ・導入システムの技術的条件 の検討 ・作業班報告案の骨子の検討 等 中旬 作業班(第 4 回) ・作業班報告案の検討
11 月		
12 月	上旬 委員会(第 37 回) ・委員会報告最終とりまとめの審議 等 12/18(金) 分科会(第 72 回) 答申	